《校訓》金剛石の光を発揮し
まわりを照らせ

六中だより

平成２９年１０月１０日
第１５号
文責
八代市立第六中学校
校長　杉田　明

学校教育目標　:夢や目標に向かって、心磨き・体磨きを土台とし、自ら考え、学ぶ生徒の育成
ス ロ ー ガ ン　:「キラッと輝く六中　①一生懸命がかっこいい　②継続は力なり」

受けつがれた水島

一年　草野

水島は保育園の頃から親しみのある島です。遠足の目的地や友達と遊ぶ時の集合場所などみんなが知っている場所です。でも、水島の歴史を知るまで「ただの島」という認識でしかありませんでした。水島の歴史を知った今は「絶対に残していきたい島」だと思っています。

水島は国の名勝に指定されています。水島の名前の由来は、景行天皇がこの島(水島)で食事をしていると水がないことに気づき、小左という人が神様に祈ったところ水がわき出てきたことが由来と言われています。私は水(川)に囲まれているからなのかなと思っていたので、深い意味があり驚きました。

また、水島は万葉集や枕草子、日本書紀など古典に紹介されているほど有名でした。現在では、外国の方々が水島観光に来ている姿をよく見かけます。

私が一番感動したのは、和田厳足という武士が水島を守ったお話です。その頃、田んぼを増やすために水島あたりの八代海を干拓することになりました。これを知った厳足は驚き、悲しみました。万葉集に詳しかった厳足は水島が干拓されてしまわないように願い出ました。当時計画の変更などはめったにないことでしたが、八代城主は厳足の必死さに心を動かされ、水島を干拓しないですむように堤防を曲げて作ることにしたのです。

私は、こんなに必死になって水島を守った厳足はかっこいいと思います。一つの小さな島を守るために八代城主と立ち向かい、その計画を変えてしまうぐらい必死になれるところが魅力だと思います。私たちは厳足さんのおかげで今の水島が存在するのだと思うと、感謝しなければいけないと思います。

水島。この二文字には努力と歴史がつまっています。私たちは厳足さんが守りついでくれた水島を、私たちの後の世代、そのまた次の世代へと受けついでいかなければなりません。そのために、まず自分にできる環境保護、ゴミ拾いからやっていきます。そして、いつまでもみんなの宝である水島を守っていきたいです。



「熊本の心」を活用した道徳の授業(感想)

９月２８日(木)に道徳教育用郷土資料「熊本の心」を活用し、全学級とも道徳の授業を行いました。１年生は地元「水島」を題材とした「神さび居るかこれの水島」、２年生は、人吉出身の川上哲治選手(元巨人軍監督)を題材とした「打撃の神様」、３年生は、郡築干拓に尽力した古城弥二郎さんを題材にした「さよならの写真」を資料に学習をしました。各学年の感想文を紹介します。

「打撃の神様」を通して考えた感謝

二年　小橋

私は道徳の授業で、「打撃の神様」と呼ばれた川上哲治さんについて学習しました。

川上さんは、たくさんの人に支えられて打撃の神様と呼ばれるまでになった人だと思います。父親ゆずりの粘り強さや、本人の思いやりや努力があり、周囲の人が応援したくなるような人でした。だから、中学校の野球部監督、土肥先生をはじめ、熊本県立熊本工業高校の先輩と野球部の先生が、川上さんが大好きな野球を続けられるように下宿先などを援助したりして支えました。また、困難にぶつかり、悩んでいるときは父が救ってくれました。そして、プロ野球巨人軍への入団を果たすことができ、川上さんは輝かしい成績を残しました。

また、川上さんは契約金と給料の半分は両親へ送っています。そこから、今までの感謝の気持ちが強く伝わります。

そこで私は、今まで家族にとても感謝していることは何か、考えてみることにしました。

私は今、バレーボール部に所属しています。バレーを始めたのは小学校三年生の時で、きっかけは小学校のジュニアチーム(社会体育)の練習に、父が連れて行ってくれたことでした。元々、父は子供の頃からバレ

(裏へ)

点こえることができ、今までやってきたことが無駄ではなかったんだと思えたし、とても嬉しかった。

自分の体験やこの話を読んで、目標を達成するとき、壁にぶちあたりやめたくなることもあるけど、周りの支えによって成し遂げることがあると思った。やる前からあきらめるのではなく、まずはやってみようとすることが大切だと思う。あと四ヶ月で前期受検がある。きついこともあり、あきらめたくなることもあると思うけど、友達とお互いに支え合い、合格に向かって頑張ろうと思う。



第２回人権集会
講話「更生保護と人権」

１０月５日(木)に金剛校区で保護司をされている**徳澄**様に「更生保護と人権」という演題で講話をしていただきました。生徒たちも小学校時代に卒業証書作りでお世話になっており、知っている人からの講演で真剣に聴いていました。

【保護司とは？】罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのるほか、時に助言なども行う民間ボランティアのことです。犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでおられます。

【生徒の感想】

私はルールを守らないことが罪を犯すということなのだと初めて知りました。日ごろのルールを守ることが大切なのだと改めて実感しました。保護司の仕事で多くの人達を助けられることを知りました。私の身の回りで差別が起こらないように１人でいる人に声をかけたり、みんな仲良く毎日を過ごしていけるように頑張りたいと思います。
（１年山田）



日本の犯罪の約6割は再犯者によるものです。保護司の役割がとても重要です。

「？」を「！」にしよう